

青少年の 健やかな成長を

第5回南国市青少年健全育成大会

大原由吏さんの意見発表



これからの郷土を担う明日ある青少年の非行防止、健全育成への活動を推進しようと、青少年健全育成市民会議（川田光城会長）が主催して、九月十六日

に市役所で第五回南国市青少年健全育成大会が開かれました。

大会では、川田会長らのあいさつの後、市内の中学校から選ばれた八人の生徒が自分の体験に基づいた意見を発表。子供の意見を大切にといった意見や、平和やいじめについての意見が発表されました。

その後、意見発表者と善行青少年への表彰が行われ、一人ひとりに表彰状が手渡されました。

血液の自給自足を

献血推進知事メッセージを伝達

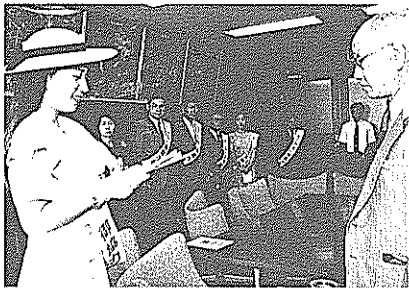
必要な血液は献血によって確保しよう——と、九月五日、ミス高知の松田由美さんが市役所を訪れ、「献血推進知事メッセージ」を浜田一雄助役に手渡しました。

現在、輸血用の血液は献血によって確保できていますが、血液分画製剤については、依然として外国からの輸入に依存しています。そこで、倫理性や安全性、安定供給などの観点から、「国内自給」を目標に、献血事業を推進していく必要があると、県と県献血推進協議会が実施したものです

とりに表彰状が手渡されました。表彰されたのは次の皆さんです。

■意見発表 大原由吏（香南中）、北村優子（同）、多田智（香長中）、川井奈央（同）、和田八重子（北陵中）、和泉直子（同）、濱田さわ（高ヶ池中）、松尾夏紀（同）

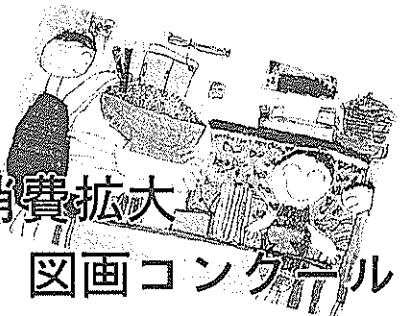
■善行青少年 福井裕子（岡豊町）、岩崎智之（大埴）、松下幸子（岡豊町）



松田さんを読み上げるメッセージ

伝達式には、伝達隊七人、市からは市献血推進協議会の浦松金吉会長ら六人が出席。献血のあり方等についての問題点などを話し合っていました。

米消費拡大 図画コンクール



平成二年度南国市米消費拡大図画コンクールが開かれ、市内十二小学校から力作四百十八点の応募がありました。

これは、南国市米消費拡大推進連絡協議会が主催して、毎年開催されているもの。

審査の結果、百十九点が入賞しました。入賞者の作品は、十月五日から十五日まで市役所一階ロビーに展示されます。

各部の金賞、銀賞の受賞者は、次の通りです。

- 一年生の部
金賞 しまさきふみこ（後免野田小）
銀賞 かわはらけんさく（十市小）、いまいけいすけ（後免野田小）

○二年生の部

- 金賞 ちようそかべさとこ（奈路小）
銀賞 利岡優子（十市小）、平田まさたか（奈路小）

○三年生の部

- 金賞 中沢佑介（岡豊小）
銀賞 高橋佳苗（岡豊小）、土居みき（十市小）

○四年生の部

- 銀賞 北村元一（岡豊小）

○五年生の部

- 銀賞 野村恵（岡豊小）、浜田悠子（奈路小）

ゲートボール場を

寄贈

高知県経済農業協同組合連合会（川野忠顕会長）と鈴江農機製作所（土居新一社長）が、南国市にゲートボール場を寄贈。八月二十一日、関係者が市役所を訪れ、市長に目録を手渡ししました。

このゲートボール場は、面積が二、〇〇〇平方メートル、現在鈴江農機の新工場が建設されている土地の一角にあり、以前から地元で利用されていたものです。